

秦野高等学校 令和8年度 2学期始業式

日 時 令和8年8月25日（水）9：10

場 所 放送室（放送）

皆さん、おはようございます。校長の大江雅美です。

今日、こうして皆さんが大きな事故や病気もなく、元気な姿で2学期のスタートを迎えられたことを、心から嬉しく思います。

この35日間の夏休み、皆さんはどのように過ごしたでしょうか。3年生は、自分の進路と向き合い、日々机に向かって知識を論理的につなぎ合わせる「密度の高い夏」を乗り越えてきたことでしょう。その努力は必ず、これからの力になります。

1・2年生も、部活動に打ち込んだ人、地域の活動やボランティアなどに取組んだ人、あるいは教科の枠を超えた「未知の体験」に挑戦した人がいたはずです。それぞれの場所で、充実した時間を過ごせたのではないのでしょうか。

さて、1学期の終業式で、私は皆さんに一つの問いかけをしました。覚えているでしょうか。文部科学省の『N-E. X. T. ハイスクール構想』に触れながら、「これからの時代に求められるのは、文系・理系という枠にとらわれず、目の前にある複雑な課題に対してデータを集め、論理的に分析し、自分なりの最適解を導き出せる『理数系人材』の思考アプローチである」というお話でした。

この夏、皆さんはその「探究心の芽」を自分の中に感じる事ができたでしょうか。「なぜだろう？」とか、「もっとこうすれば良くなるのではないか？」という疑問を持ち、自ら動いてみる。たとえ小さな疑問や挑戦であっても、自分の頭で考え、行動に移した経験こそが、皆さんが2040年の未来を創り出すための大切な「強み」になります。今日からの学校生活でも、その問いを持つ姿勢をぜひ持ち続けてほしいと思います。

今日から始まる2学期は、1年の中で最も長く、そして最も学校全体が活気に満ちあふれる季節です。行事や日々の学習、部活動を通じて、思考力をさらに深め、仲間と協力して答えのない問いに挑む絶好のチャンスが何度も訪れます。

まずは9月4日、5日に開催される秦高広陵祭文化の部です。

今年の広陵祭のテーマは、「百載無窮～勇気凛々～」です。

「百載無窮」とは、時代や世代を超えて、永遠に絶えることなく続いていくさまを表します。そして「勇気凛々」には、どんな困難や高い壁に対してもひるむことなく、強い気概と情熱を持って立ち向かっていくという意味が込められています。

秦高が目指すのは、自ら考え、行動し、未来を切り拓く力を持った人間の育成です。皆さんが学校いっぱい笑顔を広げ、真剣なまなざしで夢中になるその姿こそが、秦高の教育であり、誇りです。

そして10月には、秦高にとって大きな節目がやってきます。そう、10月29日は、いよいよ創立100周年記念式典が開催されます。

100年という長い歴史は、決して勝手に積み上がったものではありません。これまでの先輩方が、その時代ごとの困難や変化に立ち向かい、情熱と探究心をもってバトンをつないでくれたからこそ、今の秦高があります。そして今、その100年目という歴史の瞬間に立ち、次の100年へスタートする主役は、ここにいる皆さん一人ひとりです。

「未来は誰かに与えられるものではなく、自分自身の手で創り出すもの」。この記念すべき2学期を、秦高生としての誇りを胸に、全校生徒と教職員が一体となって盛り上げていきましょう。

最後に、ひとつ大切なことを伝えます。長い休みの後、そしてこれから忙しい時期に入らる中で、心が少し疲れたり、不安を感じたりすることがあるかもしれません。1学期最後にも話しましたが、まずは「自分を大切にすること」、そして「周りの人を大切にすること」を忘れないでください。困ったときや悩んだときは、決して一人で抱え込まず、先生や家族など、周りの大人に相談してください。一人では思いつかない解決策が必ずあります。

さあ今日から始まる2学期、逞しい知性と豊かな心をさらに磨き上げ、充実した学校生活を送ってくれることを期待しています。皆さんの可能性に満ちたチャレンジを、心から応援しています。

以上で、私の2学期始業式のあいさつとします。



©DESIGNALIKIE